



委員会

レポート

総務財政

一、調査年月日

平成20年2月5日

二、調査項目

①平成20年度予算概要について

②平成19年度高金利公的資金繰上償還金補正について

③IT関連事業について

三、調査結果

①平成20年度の予算概要について、一般会計の歳入歳出合計が87億9574万8000円、特別会計10会計の歳入歳出合計が36億9546万2000円、病院企業会計の歳入が14億9816万6000円、歳出が15億3677万4000円で、歳入合計139億8937万6000円、歳出合計140億2798万4000円となり、20年度で水産種

育苗センター特別会計が一般会計化され、新たに後期高齢者会計が創設されることを確認した。

②平成19年度3月定例会補正にて繰上償還される地方債は、一般会計で借入先が財務省2184万3000円、簡易水道会計で借入先が財務省7091万5000円、合計9275万8000円を繰上償還する予定であることを確認した。

なお、20年度繰上償還予定額は一般会計で1億4125万2000円、簡易水道会計で3596万4000円となっている。

③IT関連事業について、担当職員よりせたな町のシステム構築の経過について説明を受け、合併時の庁舎内情報ネットワークや電算システムに係る構築概要、保守点検業務の内容について調査したほか、情報管理室を見学し内容について確認した。

なお、町内のインターネット環境を早急に整備することも望まれることから、町としても対策や対応等を検討したい。

厚生文教

一、調査年月日

平成20年2月21日

二、調査項目

①平成20年度予算の概要について

②町内高齢者施設の利用実態について

③介護保険の認定状況とサービス利用状況

④福祉灯油の実施状況について

⑤再編後の医療体制と患者動向について

三、調査結果

①本委員会所管課の新年度予算概要について、担当課より説明を受けた。

②町内高齢者施設（民間施設含む）の利用実態について、状況を調査した。特別養護老人ホーム待機者が多いことから、当該施設等の必要性がうかがわれる。

③介護保険の認定状況とサービス利用状況

一、介護保険被保険者の推移

平成19年9月末現在の総人口は1万509人で、65才以上の第1号被保険者数は3602人であり、総人口に占める第1号被保険者の割合は34.3%となっている。

また第1号被保険者の内訳では、65歳から74歳までの前期高齢者数が1690人に対し、75歳以上の後期高齢者数が1912人となっており、第1号被保険者の半数以上が後期高齢者という状況である。

二、要支援・要介護認定者数の推移

平成19年9月末現在の要支援・要介護認定者数は551人となり、第1号被保険者数に占める割合は15.3%

%となっている。認定者数の内訳では、要支援・要介護1の軽度認定者数が262人に対し、要介護2以上の中・重度の認定者数が289人と、認定者の半数を占めている状況である。

三、居宅サービス・施設サービスの延べ利用人数の推移

平成19年度における居宅サービスの延べ利用人数は、平成19年12月末までの数値では3890人で、月平均になると389人となっている。特に認知症高齢者グループ

平成19年9月末現在の要支援・要介護認定者数は551人となり、第1号被保険者数に占める割合は15.3%

%となっている。認定者数の内訳では、要支援・要介護1の軽度認定者数が262人に対し、要介護2以上の中・重度の認定者数が289人と、認定者の半数を占めている状況である。

三、居宅サービス・施設サービスの延べ利用人数の推移

平成19年度における居宅サービスの延べ利用人数は、平成19年12月末までの数値では3890人で、月平均になると389人となっている。特に認知症高齢者グループ

平成19年9月末現在の要支援・要介護認定者数は551人となり、第1号被保険者数に占める割合は15.3%



ホームが3区にそれぞれ開設されたことにより、平成17年度の認知症対応型共同生活介護の月平均利用者が9人だったが、平成19年度においては33名と、利用者は年々増加の傾向となっている。

ことに伴い増加で推移している。また、施設サービス給付費では平成17年8月末で町内医療機関の介護療養型病床の廃止に伴い平成18年度では減少となったが、その後は横ばいで推移している。

また、施設サービスの延べ利用人数は、平成19年12月末までの数値では1338人で、月平均にすると134人となっている。内訳では、介護老人福祉施設では105人、介護老人保健施設では22人であり、平成17年度からは横ばいの推移となっている。一方、介護療養型医療施設については、平成17年8月末で町内医療機関の介護療養型病床の廃止に伴い、平成17年度の延べ利用人数では323人であったが、平成18年度では51人と減少している。

④2月15日現在の福祉灯油申請状況は、3区で698世帯の申請があり、交付世帯は583世帯である。交付率は、見込み数900世帯に対し、申請率は77・6%、交付率は64・8%となっている。

また、申請世帯のうち対象とならなかった世帯は115世帯であり、その事由は住民税課税世帯であることや、年齢基準（満70歳以上）に夫婦どちらかが該当しないということである。

⑤再編後の医療体制と患者動向について
一、町立国保病院における医師等の医療体制の現況は、医師、薬剤師、看護師、栄養士とも健康保険法及び老人保健法での基準値は満たしており、ペナルティーなしという事を調査した。

四、介護給付費の推移
平成19年度の12月までの介護給付費は52万126円で、月平均では5万2013円となっている。居宅サービス給付費では町内に認知症高齢者グループホームが開設された

二、平成19年度4月～1月分3区の医療機関における診療患者数、時間外救急患者数及び消防署における救急車の業務運行状況と、委託診療（婦人科、循環器科、眼科、整形外科）4月～1月分までの実績（合計2159件2237万8000円）を調査した。

産業建設

一、調査年月日

平成20年2月25日

二、調査項目

- ①パークゴルフ場のシーズン券導入について
- ②水産種育苗センター事業の一般会計化について
- ③20年度の農漁業支援策について
- ④町道認定について
- ⑤下宮野水道組合施設の町移管について
- ⑥北檜山区水道使用料及び下水道使用料の一部改正について

て

三、調査結果

①パークゴルフ場のシーズン券導入については、条例を改正し20年度から実施することである。

②水産種育苗センター事業特別会計は、20年度予算から一般会計に取り込むこととする。

③20年度農漁業支援策については、次のとおりである。

・水稲再生産対策事業（新規20年度のみ）水稲種子の一部（1/4以内）を助成

4万9915kg 559万9000円

・園芸施設高収益作物生産奨励事業（新規 20年度～3カ年）ハウス（100坪）資材の一部（1/3以内）を助成

20棟 460万円（3カ年継続）

・畜産自給飼料基盤拡大奨励事業（新規 20年度のみ）デントコーン種子の一部（1/4以内）を助成

4400kg 165万円
・農業担い手育成セミナー事業（新規 20年度のみ）

農業経営、農業技術、高収益生産等に関するセミナーを年3回程度開催

講師謝礼等 25万円
・畜産担い手育成総合整備事業（継続 17年度～21年度）

町営牧場分として
草地の整備改良
12・8ha
障害物の整備

4936m 1071万9000円
雑用水施設整備
950m



シーズン券を導入する北檜山パークゴルフ場

議会の動き

◆ 1 月 ◆

- 8日 第1回議員協議会
- 10日 第2回議員協議会
第1回議会運営委員会
- 11日 第7回新町建設計画等調査特別委員会
第1回臨時会
- 18日 第1回北部松山衛生センター組合最終処分地施設調査特別委員会（今金町）

◆ 2 月 ◆

- 1日 第3回議員協議会
- 4日 第1回広報発行特別委員会
- 5日 第1回総務財政常任委員会
- 8日 第4回議員協議会
第8回新町建設計画等調査特別委員会
- 15日 檜山支庁管内町村議会議員研修会（乙部町）
- 21日 第1回厚生文教常任委員会
- 25日 第2回北部松山衛生センター組合最終処分地施設調査特別委員会（今金町）
第1回北部松山衛生センター組合議会定例会
第1回産業建設常任委員会
- 29日 第2回議会運営委員会

◆ 3 月 ◆

- 3日 第1回定例会
第1回意見書の取扱いに係る調査特別委員会
- 7日 第2回意見書の取扱いに係る調査特別委員会
- 10日 第1回定例会
- 11日 予算審査特別委員会
第3回議会運営委員会
- 12日 予算審査特別委員会
- 13日 第1回定例会
- 16日 第3回意見書の取扱いに係る調査特別委員会
- 18日 檜山支庁管内議会議長会臨時総会（江差町）
- 24日 第1回檜山広域行政組合理議会定例会
- 26日 第4回意見書の取扱いに係る調査特別委員会

◆ 4 月 ◆

- 11日 第2回総務財政常任委員会
- 21日 檜山管内町村議会議長会定例総会（江差町）
第3回北部松山衛生センター組合議会最終処分地施設調査特別委員会
- 22日 せたな観光協会通常総会
- 23日 第2回厚生文教常任委員会

・目名地区団体営事業調査設計負担金（新規 20年度調査設計）
 農業用排水路整備（調査設計）320万円
 ・漁業経営安定対策事業（新規 20年度のみ）
 せたな町に住所を有し、かつ、ひやま漁協に属する正・準組合員に対し、
 販売手数料の一部（0・9% × 1/4）を助成

特別負担金の一部（1万円 × 1/5）を助成
 合わせて400万円
 ④町道の路線認定（変更）については、次のとおり認定したいとのことである。
 ・変更 北檜山駅4号線
 66m追加して延長234・9m（北檜山区）
 ・新規 公園通2号線
 延長90m（北檜山区）
 ・新規 山麓通1号線

延長50m（北檜山区）
 ・新規 夕陽が丘通5号支線
 延長158・5m（瀬棚区）
 ⑤下宮野水道組合施設の町移管について
 ・昭和30年代に地元の有志により造られ運営してきたが、高齢者が多くなり管理運営が困難となってきたため、当該組合施設を20年度より町に移管し、町が管理運営することである。

⑥北檜山区において水道使用料、公共下水道使用料の基本使用料及び超過料金について、従来は一般用、営農用であったが20年度より浴場用を追加し、基本料金100㎡まで5980円、超過料金1㎡につき60円とするとのことである。

編集後記

▼四月に入り春の日差しがきびしくなりましたが、肌寒い日が続いたかと思うと一気に夏日になるなど気まぐれな天候に翻弄されっぱなしという感じです。

▼農家の方々、田植えの時期を目前に準備作業に大忙しの事でしょう。

▼春と言えば入学式です。せたな町の小学校でも一斉に入学式が挙行され、64人の新入学児童が期待に胸ふくらませ校门をくぐりました。

少子化が進む中、児童数は年々少なくなっていますが元気な子供の姿は、今も昔も変わらないようです。カラフルな真新しいランドセルを背負い、緊張した面持ちで登校してくる児童を見ると新鮮な気持ちになりました。

▼この天真爛漫な子供たちが、元気に安心して暮らせる町を創るためにどうしたらよいか、大人たちは真剣に考えていかなければならないとつくづく感じたところです。

議会広報発行特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 熊野 主税 |
| 副委員長 | 澤田 光子 |
| 委員 | 本多 浩 |
| 〃 | 大野 一男 |
| 〃 | 内田 尊之 |
| 〃 | 大口 義孝 |